

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成 29 年 8 月 3 日 (2017.8.3)

【公開番号】特開 2016-16005 (P2016-16005A)

【公開日】平成 28 年 2 月 1 日 (2016.2.1)

【年通号数】公開・登録公報 2016-007

【出願番号】特願 2014-138784 (P2014-138784)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 5 0 B

A 6 3 F 7/02 3 0 4 B

A 6 3 F 7/02 3 0 4 D

A 6 3 F 7/02 3 1 2 Z

A 6 3 F 7/02 3 1 5 Z

A 6 3 F 7/02 3 5 0 Z

A 6 3 F 7/02 3 2 6 Z

【手続補正書】

【提出日】平成 29 年 6 月 22 日 (2017.6.22)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技機が所定の状態になったことを検出する検出手段と、  
前記検出手段の検出結果に基づいて所定の異常を判定する異常判定手段と、  
前記異常判定手段により前記所定の異常と判定された場合にはその旨を報知する報知手段と、

を備えた遊技機であって、  
前記所定の異常には、前記報知手段によって報知される優先度について、第 1 の異常と、前記第 1 の異常よりも優先度が低い第 2 の異常とがあり、  
前記第 1 の異常と前記第 2 の異常では異なる報知態様であること  
を特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 7】

このような問題を解決するために、本発明の遊技機は、請求項 1 に記載したように、遊技機（遊技機 1 0 0）が所定の状態になったことを検出する検出手段（図 4 - 1 に示す各種のスイッチ及びセンサ）と、

前記検出手段の検出結果に基づいて所定の異常を判定する異常判定手段（S 7 1 5 の異常処理、S 5 1 2 2 及び S 7 0 0 6 入賞頻度異常エラー処理）と、

前記異常判定手段により前記所定の異常と判定された場合にはその旨を報知する報知手段（メイン表示装置 1 0 8、音声出力装置 1 3 8、枠装飾ランプ 1 4 1）と、

を備えた遊技機（遊技機 1 0 0）であって、  
前記所定の異常には、前記報知手段によって報知される優先度について、第 1 の異常と  
、前記第 1 の異常よりも優先度が低い第 2 の異常とがあり（図 7 4）、  
前記第 1 の異常と前記第 2 の異常では異なる報知態様である（図 7 4、図 7 5）ことを  
要旨とする。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 8

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 0

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 0】

本発明によれば、異常が発生した旨を報知する異常報知を好適に行うことが可能となる

。